

## 東愛宕中学校グローバル教育活動報告 2020年1月23日(木)

2019年度3回目のグローバル教育プロジェクトを、多摩市立東愛宕中学校にて実施しました。今回のプロジェクトは、英語部のみなさんとの活動です。中学1・2年生が身に付けている英語の知識を使って、「使える英語」を楽しみながら学べるプログラムを企画・実施することとなりました。プロジェクトメンバーは、これまで他の中学校で行ったプロジェクトの経験者を中心に、新たなメンバーも加えて企画を練り上げ、本番さながらのリハーサルを重ねたうえで当日に臨みました。



東愛宕中学校で実施したのは、1. アイスブレイクゲーム「What's missing?」、2. 「はじめてのおつかい in English」の2つのアクティビティです。いずれも All English で行いましたが、そこは英語部で日ごろ活動している生徒たち、最初こそ緊張気味でしたが、実際に会話をする場面になると積極的に参加してくれました。

### 1. アイスブレイク「What's missing?」

グループ分けを兼ねた絵合わせゲームです。

参加者ひとりひとりの背中に、5種類の動物の絵を貼ります。ゲーム開始と同時に、「What is a picture on my back?」と聞きながら仲間を探します。全員が仲間を見つけ、5つのグループができたところで、黒板に貼られた6種類の動物のどれがないか(What's missing?)をみんなで回答し、ミッションクリアとなります。単にゲームで用いるフレーズを覚えるだけでなく、恥ずかしがらずに声に出して会話する!相手に話しかける!という経験を積むことが目的です。



ゲームのルール説明、デモンストレーションも全て英語で行いましたが、きちんと理解した上でゲームに取り組めたようです。



### 2. 「はじめてのおつかい in English」

東愛宕中学校の中に、中大生が5つのお店(書店、薬局、レストラン、スーパーマーケット、楽器店)を開いています。生徒たちはアイスブレイクで作った5つのグループに分かれ、shopping cardで指示されたお店に行き、渡されたおこづかいの中から買い物をしてきます。買い物から帰ってきたときに多



くおこづかいが残っているグループが Winner となります。

生徒たちが挨拶をしてお店に入り、「I want ○○」と欲しい品物を言うと…店員からは質問の嵐です。スーパーマーケットであれば、「にんじんね？どのくらいほしいの？」「大きいのと小さいの、どっち？」「にんじん好き？」「なんの料理を作るの？」といった具合です。生徒

たちはこれまで身に付けたフレーズや語彙をフル活用。時には店員からのヒントももらいながら、一生懸命にコミュニケーションをとっていました。

店員のツッコミを乗り越え、次は支払いです。支払いはなんとくじ引き！カードを引いて、運がよければ 10 チュー\$（「チュー」は中央大学のマスコット「チュー王子」から）、悪いと 1000 チュー\$のお支払いです。「わっ！1000だ！！」それまで All English で頑張っていたのに、ここでは思わず Japanese の叫び声があがるのがほほえましかったです。

各グループに配られたおこづかいは 3400 チュー\$、支払いカードで 1000 チュー\$が続くとどんどんお財布が寂しくなります。そんなときは、廊下で助けを求める“mission woman”と会話し、無事に misson がクリアできると御礼のボーナスチャンスです。4回の「rock paper scissors」（じゃんけん）を行い、全勝すると 1000 チュー\$のボーナスです。ボーナス目指して大盛り上がり！見事、rabbit チームが優勝に輝きました。

閉会式では、代表の生徒から「とても楽しかったです。ぜひまた来てください。」という言葉いただきました。終了後のアンケートでは、全員から「満足」という評価をいただくとともに、「また来てください！」という多くのコメントをいただくことができました。



明るく、元気な中学生のみなさんと一緒に楽しむことができ、私たちにとっても充実した楽しい時間を過ごすことができました。今後もぜひ継続して活動していきたいと思います。

東愛宕中学校英語部のみなさん、ありがとうございました！

